例

春まちコンサート２０１７（第３０回記念定期演奏会）企画案

（企画者　　藤井　伸司　）

１　企画の趣旨（コンセプト）

本団は 1985 年の設立，翌 1986 年３月に第１回の定期演奏会（当時は「ＦＭＣオーケストラ演奏会」）を開催して以来，年に１度の定期演奏会を続け，2017 年２月で第 30 回定期演奏会を迎える。これを記念して，到底通常の演奏会ではできないような曲目を設定し，祝賀的演奏会の機運を盛り上げていきたい。また，それとともに，後の 10 年を見据え発展的な内容としたい。

２　内容

（１）期日　2017 年 2 月 26 日（日）

（２）場所　府中市文化センター大ホール

（３）時程

13:20　ロビーコンサート

13:40　指揮者プレトーク

14:00　開会行事（司会：佐藤香子さん）

①　団長挨拶（10 分，本団の 30 年のあゆみを振り返り）

②　市長祝辞（5 分）

14:17　シベリウス／フィンランディア（女声三部合唱版）

14:27　舞台転換（合唱団，管・打楽器はハケる）

14:30　マーラー／アダジェット（交響曲第５番第４楽章）

14:45　－－－　休　憩（15 分）　－－－　※大きく舞台転換

15:00　ホルスト／組曲「惑星」

＜以下，アンコールとして＞

15:55　シベリウス／カレリア組曲より「行進曲」

16:00　ふるさと（女声三部合唱版）

３　選曲理由

（１）シベリウス／フィンランディア（女声三部合唱版）

フィンランド第２の国歌と言われる同曲は人々の勇気の象徴であった。音楽は人々に希望と勇気を与える存在でありたいとの願いを込めオープニングに演奏する。

（２）マーラー／アダジェット（交響曲第５番第４楽章）

弦楽とハープの身で演奏され，「愛の楽章」と呼ばれる美しい楽章である。本団を愛し，育ててこられた多くの方々への感謝の気持ちを込めて，また，今は亡き先達へ哀悼の意を表す演奏とする。

（３）ホルスト／組曲「惑星」

到底演奏できる規模の楽曲ではない同曲を多くの力で成し遂げるという「力の結集」をコンセプトとする。特殊な楽器，奏者が必要となるが，広く賛助を呼びかけて成功させたい。

（４）シベリウス／カレリア組曲より「行進曲」

オープニングのフィンランディアに呼応する曲として選曲。その領有を巡る争いの地となったカレリア地方は現在ではロシア（カレリア共和国）とフィンランドに分割されている。

（５）ふるさと（女声三部合唱版）

合唱団は花道に位置し，最後を飾る。

４　その他

（１）克服すべき諸課題

①　楽器の編成

ピッコロ２本，バスフルート，バスオーボエ，コントラファゴット，バスクラリネット，テナーチューバ，チューバ，ティンパニ２セット，ハープ２台，オルガン，チェレスタ，ヴァイオリンソロ，チェロソロ，女声合唱（舞台裏）が必要。

②　エキストラの確保

③　経費

経費にかかわっては，可能な限り助成申請を行う。場合によっては，協賛企業を募り広告を掲載することも考える。

（２）練習期間とその他の演奏活動について

夏に開催する「どれみファミリーコンサート」については，2016 年度は開催せず第 30 回定期演奏会にかかわる曲目を１年通して練習する。また，2016 年 11 月 6 日には，アヴァンティ・オペラ（土井範江さん主宰）のオペラ公演への賛助出演を行うため，第 29 回定期演奏会後の３月からの練習は，オペラ「愛の妙薬（ドニゼッティ作曲）」と第 30 回定期演奏会の曲目を綿密な計画の下，同時並行して行う。練習のしやすさを考えてメインの曲は交響曲ではなく組曲とし，細かく練習曲目を設定できるように配慮する。